|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人  しおかぜ | 代表者 | 理事長  矢野　旬一 |  | 法人・  事業所  の特徴 | 社会福祉法人しおかぜは、特養・ショートステイ・デイサービス・訪問介護・小規模  多機能や認定こども園と子供から高齢者まで、幅広く生活を支援することができます。  小規模多機能では、認知症高齢者の支援に力を入れており、軽度から重度の方まで様々  な状態の方に利用して頂いています |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム  やすらぎの家児島駅前 | 管理者 | 立石　裕子 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 人 | ２人 | 人 | 1人 | 1人 | １人 | 2人 | 人 | ７人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の  確認 | ・毎月のやすらぎ会議で取り組みについて自己評価を行い、改善計画を常に意識する。 | ・毎月確認する事で、より意識出来る様になり、更に改善点を見つける事も出来た。  ・各ご利用者様の担当の名刺を作り、職員・ご利用者様共に意識付を行った。役割の幅が広がり、個人の「～したい」等が形に出来ている。 | ・職員の振り返りができる良い機会でもある。  ・評価については、個人差がある。 | ・引き続き、まずは担当のご利用者様のしたい事、行きたい所、食べたい物、困っている事等の声をしっかり拾い、一つずつ叶える。  ・チームとして支援できるよう職員同士の連携を強化する |
| Ｂ．事業所の  しつらえ・環境 | ・寄せ植えを置いたり、施設周りに種を蒔く等してお花を咲かせ、明るい雰囲気で、気持ち良くお迎えする。 | ・ご利用者様が来所時、足を止め見て季節を感じたり、会話のきっかけになったりしている。  ・訪問者も褒めて下さる。 | ・ご家族様や来訪者等から、種や苗、プランターを頂く事もあり、より明るく綺麗になった。 | ・事業所内もご利用者様の作品を飾る等、四季折々の環境作りに取り組んでいく。 |
| Ｃ．事業所と地域の  かかわり | ・散歩を兼ね引き続きゴミ拾い実施  ・創設１０周年記念イベントを実施し。地域の方等もお招きする。 | ・季節の良い時、足元が良いご利用者様の時は、散歩を兼ねてのゴミ拾いも出来た。  ・１０周年記念イベントは雨天だったが、地域の方やご家族の方も来て下さり、一緒に楽しんで頂けた。 | ・公園はいつも地域の方が、綺麗に掃除をして下さっている。  ・側溝より雑木が生えている。市の方へお願い出来るとの事。  ・今年は地元の中学生を職場体験として、受け入れを行った。 | ・事業所通信を隔月から毎月に変  　更。又ホームページやインスタ  　等のSNSも開設し施設の様子 をご家族様や地域の方にも見て頂ける様にした。継続し発信していく。 |
| Ｄ．地域に出向いて  本人の暮らしを  支える取組み | ・日常生活の中で公共施設に出向いたり、施設周辺の散歩の機会を多く持てる様に支援する。 | ・コロナが５類に移行したとはいえ、感染力も強く、なかなか人の多い場所に出掛けるのは、実際まだ躊躇するところがある。 | ・特に意見無し。 | ・地域の行事（お祭り等）に積極的に参加。  ・感染症対策をしっかりし、散歩やドライブ等、地域に出向く機会を増やす。 |
| Ｅ．運営推進会議を  活かした取組み | ・引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか検討する。  ・運営推進会議時に、地域で困っている方等の情報共有をする。 | ・事業所やご利用者様の様子、課題等について意見交換しながら情報共有出来ている。  ・地域で困っている事については、現在特にないとの事。 | ・猫や犬の保護＆捕獲についての 　意見があった。 | ・運営推進会議で出た意見を事業所会議の課題として取り上げ、参加した職員だけではなく、全職員で情報共有し改善に努める。 |
| Ｆ．事業所の  防災・災害対策 | ・地域の避難訓練に声を掛けてもらい、出来る範囲で参加させて頂く。 | ・２コースに分かれ参加させて頂く。その際、事業所やその他介護施設、介護保険等を知らない地域の方から質問もあり、お伝えする事が出来た。いつでも見学に来て下さいと声掛けする。 | ・小地域ケア会議でも、防災の勉強会や情報共有をしている。  ・発電機を購入したり、備蓄品の準備等も進めている。 | ・引き続き地域の避難訓練に参加させて頂く。出来ればご利用者様も数名参加してみる。  ・家具等の転倒・落下防止対策。 |